

令和6年10月8日

東京都新宿区西新宿6-5-1
株式会社FJネクスト
代表取締役 肥田 幸春 殿

(仮称) ガーラ・レジデンス洋光台事業計画
近隣住民代表 ●● ●●

直訴状(その9)

前略 貴社、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
貴殿には、9回目の書簡になります。

さて、本件工事計画の標識看板が、昨年5月に計画地周囲の擁壁の3面に貼付されてから、足掛け18カ月が経過しました。

その標識看板には、工事着工予定日が「2024年1月10日」と記されています。そして、その期日がとうに過ぎた現在も、工事着手予定日は変更もせずに、そのまま「2024年1月10日」の記載になっています。標識に貼付された工事利用計画図も、猛暑及び風雨に耐えかねて、跡形もなく消え去っています。同時に、計画敷地内は、背丈3メートルを超える雑草が伸び放題で、さながら「祭りのあと」を想起させる状況です。

そのような中、通りすがりの人々は、標識看板を見て、工事用のゲート越しに工事現場の中をのぞき込み、何故？工事が始まらないのか、首を傾げています。その際、工事現場周辺に張り巡らされた横断幕に気付き、「青空を渡さない会」のホームページ及び「X」のQRコード(別紙)をスマホで読み込み、「なるほど」と頷いています。

また、本年8月23日には、横断幕の撮影をしている方を近隣住民が見かけましたので、「何か関係がある方でしょうか？」とお聞きしたら、大手の設備業者の方でした。その方は、「ゼネコンに頼まれて、昨年見積もりを入れたが、なかなか工事の着手との話が来ないので、どうしたのかと思い現場を見に来ました。」と話されました。そこで、

ホームページ及び「X」の QR コードを読み込んで頂いた上で、「ゼネコンの方必見」の記事につき詳しく解説をしたところ、その社員の方は「こんなことになっているとは思いませんでした。」、「これでは工事は何時になるか分かりませんね。」、「会社に報告することができます。」と深々とお辞儀をし、帰路に就かれました。

更には、本年8月28日には、洋光台第一小学校の通学路協議会において、本件工事期間中の通学路の確保等について、建築主から一切の連絡がないことに関し、話題となりました。出席されていた協議会の委員である洋光台三丁目町内会長が、問題点の概要を簡単に説明したところです。

そして、本年9月入って、洋光台第一小学校に子供達を通わせる保護者の方々と、近隣住民が情報交換などを行ったところ、有志の方々において別添「洋光台第一小学校の安全な通学路を守るための要請書」の署名活動が開始されました。

現時点で、集まった署名（81名分）を同封いたしますので、未だゼネコンが決まっていない現段階において、工事の見直しを行うことをお勧めします。

なお、貴社の責任者とされる開発事業部の社員等が、過去4回の説明会等の席で発言した数多くの問題点を「X」上に掲載しました。社長代理として出席していた社員の所業を、権限委譲した社長として確認されることもお勧めします。

説明会において、貴社の責任者等が発言された「無責任と言わざるを得ない内容」では、この工事を請け負うゼネコンは現れないものと思います。社長自ら、ご検証の上、ご対応頂くことが肝要と思料します。

最後になりますが、私は、スーパーゼネコンに勤務していましたが、説明会が荒れ、建築主等が、後々問題となる発言を繰り返している様な工事計画は、決して請負うことはありませんでした。何故なら、近隣住民、周辺住民及び町内会の協力なしには、工事は予定通りに進まないことが明白だからです。

是非とも、ご賢察の上、工事の見直しをご検討下さることを要請します。

上記は、貴社の親会社の株主の立場からも、併せて助言をしているものです。

以上

注) 要請書の「住所氏名」は、本件以外にその情報を用途外使用しないこと

及び、個人情報保護法に従い外部に情報提供しないことを併せて要請します。